

令和6年8月2日(金) 専門研修4「教育相談基礎編～わかり合うところがスタートライン～」を実施しました。



講義1では、「特別な教育的支援の必要な幼児児童生徒の理解」として、幼児児童生徒の行動をどう見るかがどうかかわるかにつながる、ということをお伝えしました。



講義2・演習では「教育相談で大切にしたいこと」として、子どもや保護者との教育相談をする上で必要な心構えや技法についてお伝えしました。演習を取り入れることで、実感を伴いながら学ぶ機会になりました。



講義3・協議では、午前中に学んだ内容を基に、教育相談をする上で必要な視点や対応について協議を行いました。協議内容の共有をする際は、同一事例を扱っても校種によって着目する点や捉え方にちがいが見られましたが、共通して「子どもを分かろうとすることが大切。分かるために一人ではなくチームで考えることが有効」という声が聞かれました。

受講者からは、「学校教育の全てにかかわる大切な心持ちを得ることができた」「教育相談が子どもの安心や信頼感につながり、教育活動の土台となることを学べた」などの声があり、教育相談の考え方や力の大切さを実感する1日となったようです。